

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

推進校実施報告書

1 学校名：岐阜県海津市立大江小学校

2 実施日時：2018（平成 30）年 11 月 1 日（木）9:40-11:00

3 対象：全校児童 61 名

4 派遣パラリンピアン：前川 楓 さん

（女子パラ陸上競技 走り幅跳び T42 リオデジャネイロ大会第 4 位）

5 実践形態：講演、実技指導

6 授業内容：

2018（平成 30）年 11 月 1 日（木）に、岐阜県海津市立大江小学校にて、障害者陸上・幅跳びの前川楓さんによる講演および実技指導が行われました。

「私のこれまでの経緯 — 好きを大切に！」というテーマで行われた講演では、はじめに、前川さんが障害を負ってから陸上をはじめるまでの経緯と、競技者として心がけていることを話して下さいました。

前川さんは、元々、運動好きではなく、得意でもなかったといいます。しかし、当時仲が良かった友達の誘いで中学校のバスケ部に入部したところ、その面白さにすっかりはまり、もっと上手になりたいと練習に励んだといいます。3 年時には副キャプテンに選ばれましたが、スターティングメンバーにはなれませんでした。

中学 3 年時、前川さんは、交通事故によって、大腿部以下の切断を余儀なくされました。手術後は、激しい痛みに襲われ、食事もままならず、ベッドでの生活がしばらく続いたといいます。友人に会えるようになってからは、市で優勝したチームのメンバーに対して「おめでとう！」と嬉しい気持ちを抱く一方で、徐々に、「何で私か」と悔しさも強くなっていったそうです。事故前までは当たり前できていたことや、面倒と感じていた行事の準備等をみんなと一緒にできなくなってしまったことが悲しく、また、友人からは「どう接したらいい？」と聞かれたこともあったそうです。

1 年間の松葉杖生活の後で義足を作ることになった頃、2 つの出来事がありました。1 つ目は、義足モデルの GIMICO さんの活躍を知ったことです。「私もこんな風になりたい」と感じるようになった前川さんは、脚を切断したからこそ出会った人がたくさんいることや、「ただ脚がなくなっただけ」、まずはやりたいことに挑戦しよう」と思うようになったそうです。そして 2 つ目が、パラ陸上の選手であった大西瞳さんに出会ったことです。大西さんから陸上のユニフォームをもらったことで、陸上を始めました。初めて大会に出場した際には、良い記録ではなかったにも関わらず、脚を切って初めて風を感じてとても楽しかったと話して下さいました。

その後、もっと速くなりたいと陸上部に入部し、世界大会への出場も果たしましたが、リオパラリンピックでは自己ベストを更新したにも関わらず、メダルには届きませんでした。このままではだめだと感じ、通っていた短大を辞めて新しい環境を探る中でイムラアスリートアカデミーを見つけたといいます。障害を負うまでは、パラアスリートに対して「障害あるのにすごいな」と思っていたのですが、今は、「あるもの（障害）を最大限に生

かして戦う」のがパラアスリートだと思えるようになったといいます。前川さんにとっても、自身の障害は最大の武器であり、義足は、速く走るためのカッコいいものだと話していました。

講演の最後には、「好き」を大切にすること、向上心を忘れないこと、「ありがとう」をたくさん言うことの3つを、児童へのメッセージとして強くお話して下さいました。特に3つ目については、義足になってから家族や周囲の方の支えをより感じるようになり、お礼を口にする機会が増えたと、ご自身の経験を話していました。

講演の後には、日常生活用と競技用の義足に、児童が触れる場面も設けられました。児童は、義足を目の前にすると、はじめは、恐る恐る義足に触れていましたが、慣れてくると、持ち上げたり、熱心に観察し、「金属の部分が重い」といった感想も聞かれました。その後、全校児童を対象とした、実技指導が行われました。ストレッチや簡単なトレーニングについて、児童は一生懸命に話を聞きながら、楽しそうに取り組んでいました。

大江小では、今回の講演に先立ち、パラリンピック教材の「I'm Possible」や、車いす陸上の副島さんの姿を記録したDVD「夢に向かって」を用いて事前学習を行ったようです。事前学習においても、パラ競技に対する児童の興味関心は高く、特に、副島さんのDVDについての感想文はしっかりと書かれていたとのこと。事前学習とアスリートによる講演が、有意義に関連づけられた実践でした。

7 授業の様子



【 講演の様子 】



【 義足に触れている様子 】



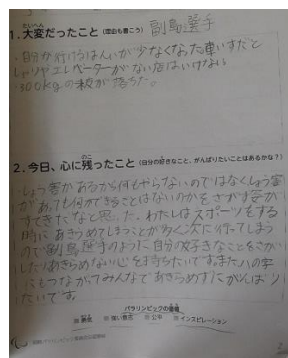
【 実技指導の様子① 】



【 実技指導の様子② 】



【 全体での記念撮影 】



【 事前指導時の児童の感想文 】